

VIKING用レンジフード

目次

安全上のご注意	1
各部の名称／付属品一覧	2
取り付け時のご注意	3
取り付け前の調査と準備	4
施工手順	5
試運転／お客様への説明	10
製品寸法図	11

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



禁止事項



接触禁止



分解・修理・改造禁止



指示に従う



アースを取付ける

株式会社 TOOLBOX

URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

安全上のご注意

警告



修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しないでください。
発火したり異常動作で、けがをする恐れがあります。



アースを確実に取り付けてください。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



AC100V 以外では使用しないでください。



配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が行ってください。



メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けてください。
漏電した場合、発火したり感電する恐れがあります。



本体とダクトは可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。
火災などの原因となります。



排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
火災などの原因となります。

注意



運転中は危険ですので、ファンの中に指や物を入れないでください。
また、ファンや部品の取り付けは確実に行ってください。
落下によりけがをする恐れがあります。



必ず手袋を着用し、取り付け作業を行ってください。



電源は専用ブレーカーを設けてください。
火災・故障の原因となります。

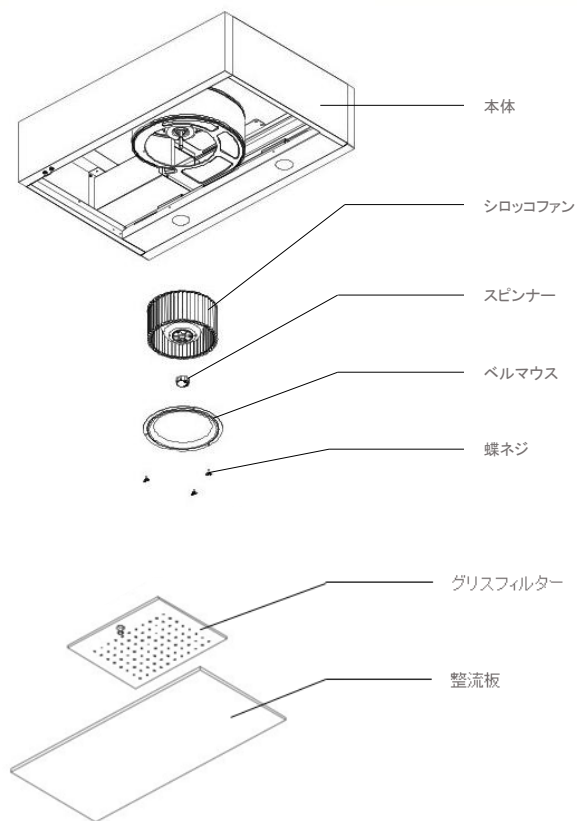


レンジフードに荷重がかからないようにしてください。
落下する恐れがあります。

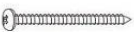


浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
（浴室換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります

各部の名称



付属品一覧

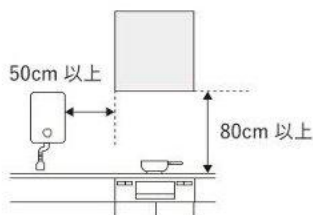
	排気口具	2 個	本体とダクトの接続に使います。
	ソフトテープ	2 本	排気口具とダクトの隙間ふさぎに使用します。
	タップタイトねじ	10 本	排気口具とダクトカバーの取り付けに使用します。
	木ねじ (M6 × 50)	6 本	本体の取り付けに使用します。

取り付け時のご注意

※ 排気工事をされる場合は、建築基準法および消防法などの関連法規にあわせて施工してください。

1 レンジフードファンの取り付けは、漏電に対する十分な配慮を行ってください。

2 温度は高くなりすぎると製品の故障の原因になるため、下図の寸法が守られているか確認してください。またガス湯沸器の真上に取り付けないでください。



3 レンジフードの幅より狭い調理器具をご使用ください。

4 排気ダクトはφ150mmをご使用ください。
排気口までの距離が長かったり、ダクトが変形している場合、性能が低下する恐れがありますのでご注意ください。

5 40℃以上の高温になる場所や、薬品を使う場所には取り付けしないでください。故障や感電の原因になります。

6 排気ダクト（パイプ）と排気口の間は、ソフトテープで隙間を塞いだ後、アルミテープでテーピング処理を行ってください。

7 ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：勾配 1/100 ～ 1/50 程度）。雨水の侵入や結露水の逆流の原因になります。

8 気密性の高い部屋では、レンジフードを作動させた際にドアなりやストーブの異常燃焼が起こる恐れがあります。そうでない部屋であっても給気には十分な配慮をしてください。

9 取り付け後は、養生材をかぶせてください。内装工事で汚れる恐れがあります。

10 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m³/h時50Pa以下のものをご使用ください。

11 建物が密閉されている場合は必ず、約400cm³程度の空気取り入れ口を設けてください。

12 ダクトは50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。その際の施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。

13 レンジフードの取付面の補強部に、取付用のねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用ねじは50mmの長さのものが同梱されていますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

取り付け前の調査と準備

※レンジフードファン本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強枠等に確実にすること

① 取付面の強度確認

製品質量

35kg

製品を支える強さが必要です。
製品の質量は最大約35kgです。
十分耐える取り付けをしてください。しっかり取り付けられないと、落下、騒音、振動の原因になります。

- 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理を行ってください）
 - ・ 30mm以上の補強材下地（防虫処理したもの）にレンジフードファンをしっかりと取り付けてください。
- コンクリート、タイル壁の場合
 - ・ あらかじめ補強板（厚さ30mm以上）を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。
- 土壁の場合
 - ・ 柱などに固定した補強板（厚さ30mm以上）をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

③ 別売部品の準備

排気工事に応じた別売部品の準備が必要です。
※側面直排気の場合、別売のガイド板を壁に組み込んでおいてください。

② 取付面の壁厚確認

レンジフードの取付面の補強部に、取付用のねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用ねじは50mmの長さのものが同梱されていますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

施工手順

1 付属品の確認

付属品の確認をします。

梱包箱から排気口、ネジなどの付属品を取り出し、「付属品一覧 (P.2)」を参照の上、不足がないかご確認ください。



注意



手袋をする

取扱いの際は、必ず手袋をすること。

鋼板の切り口や角でケガをする恐れがあります。

2 排気方向の決定

※ 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。



警告



取扱注意

排気工事をされる場合は、建築基準法（同施工令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと。

火災などの原因になります。



取扱注意

メタルラス張り・ワイヤラス張り、また金属板張りの木造の造影物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス・ワイヤラス・金属板とが電氣的に接触しないように取り付けること。

漏電した場合、発火したり感電する恐れがあります。



取扱注意

レンジフードと排気ダクトなどは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと。

火災などの原因になります。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。



注意



使用禁止

浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと。（浴室換気扇をお使いください。）
感電および故障の原因になります。

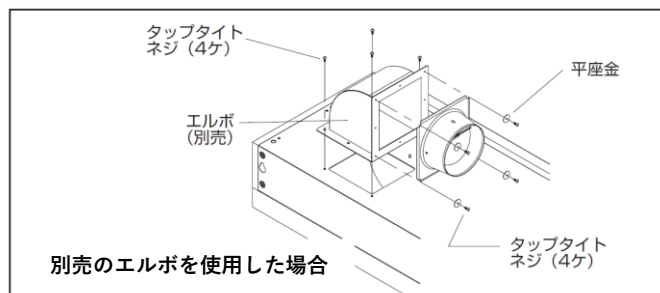
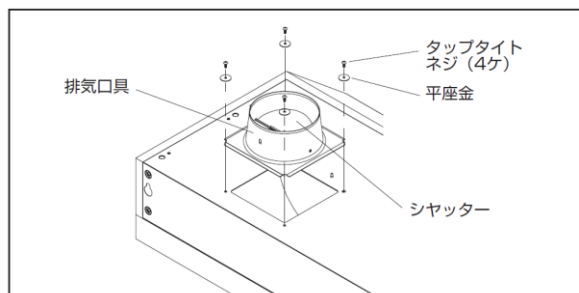


取付禁止

周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと。

火災・故障の原因になります。

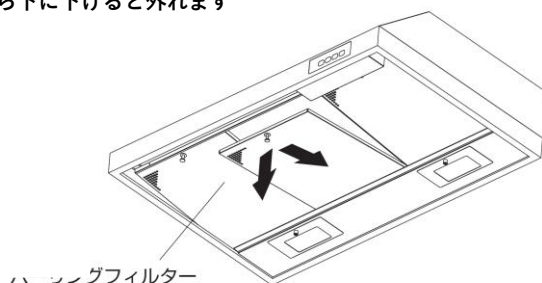
3 排気口具の取り付け



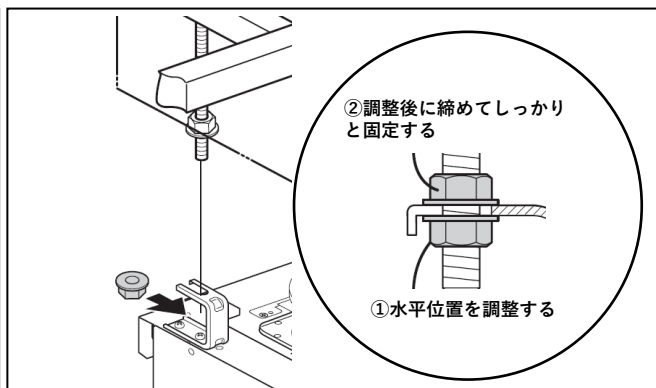
4 本体の取り付け

フィルターをはずしてください

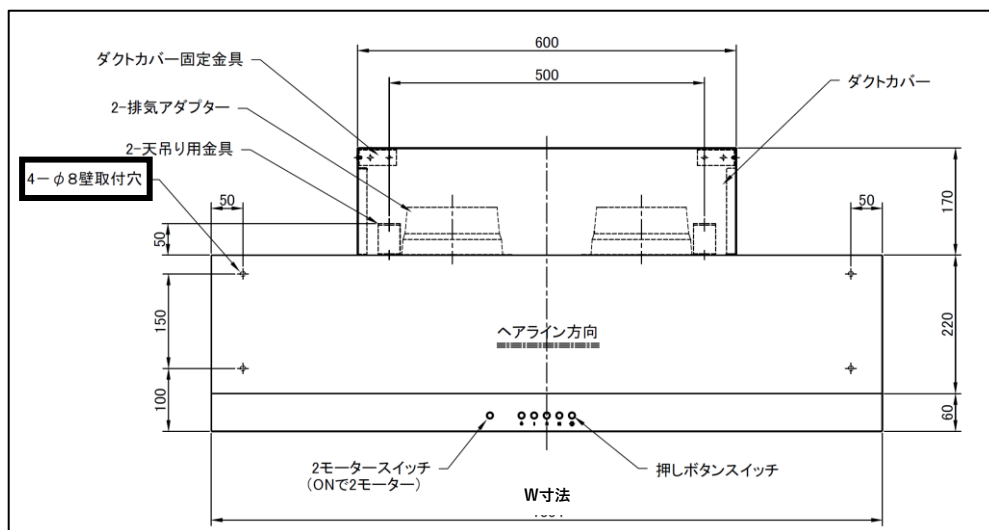
フィルターの取っ手をつかんで奥に押し
ながら下に下げると外れます



吊りボルトを2点ナット固定します。



本体を木ねじで4ヶ所ねじで固定します。



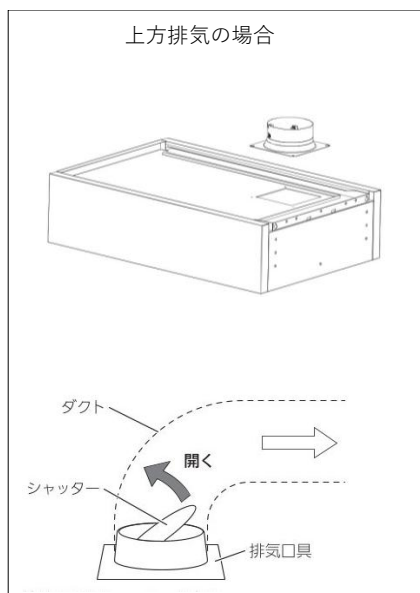
5 排気用部品の準備

- ① 排気口具は本体の上面に1個あたり取付ねじ4本で取付けてください。
- ② 取付方向に注意してください。
- ③ 付属品のソフトテープを排気口具に巻き付けてください。

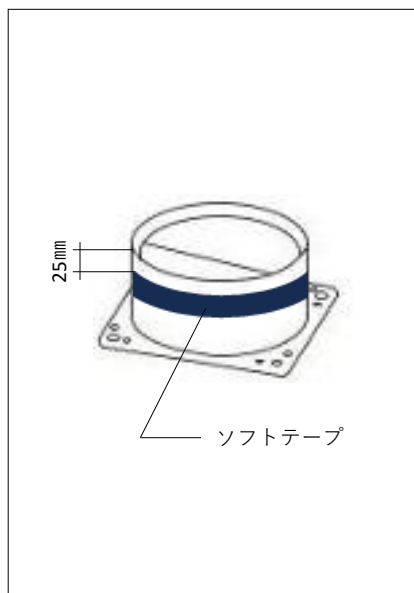
排気口具用
取付ねじ (8本)



排気口具の取付方向とシャッターの向き



ソフトテープの貼り付け

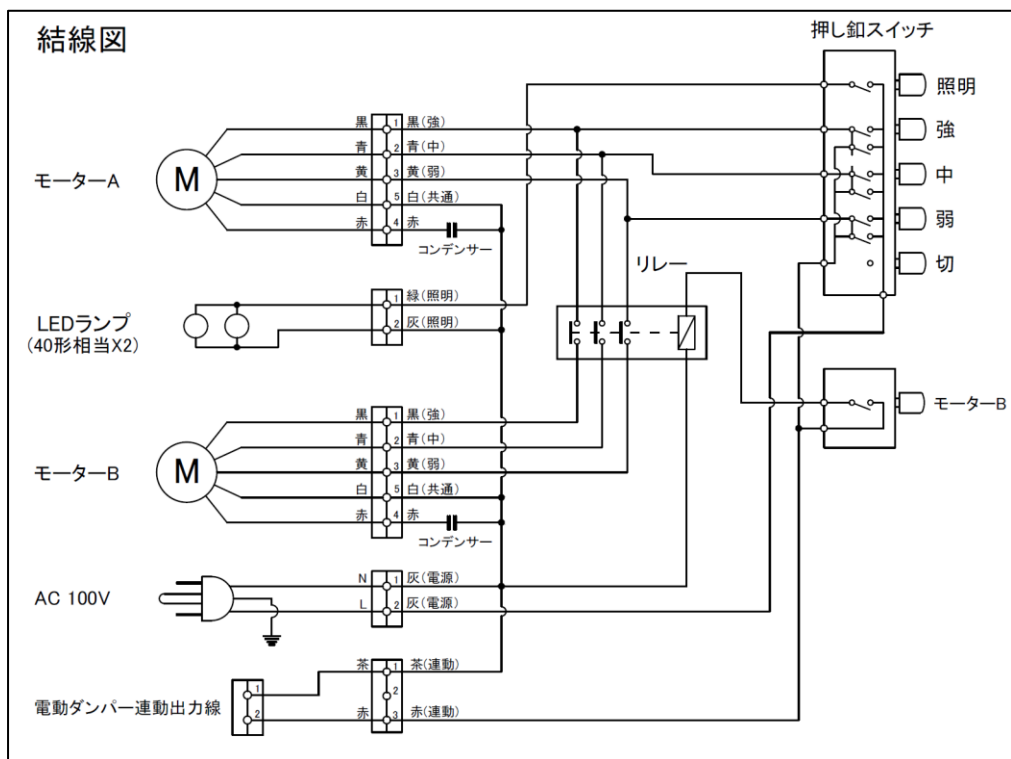


7 ダクトと排気用部品の取り付け

ダクトと本体の風漏れ防止のため、ソフトテープで隙間をふさいでください。さらにアルミテープを巻ける場合は、アルミテープでテーピング処理を行ってください。

8 電源の接続

分電盤のブレーカーを「切」にし、コンセントに電源プラグを差込みます



9 各部を取り付ける

9-1 グリスフィルターを取り付ける

9-2 整流板を取り付ける

試運転

- 1 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 2 運転時、各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。
- 3 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 4 取り付けまたは設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので、
十分確認してください。

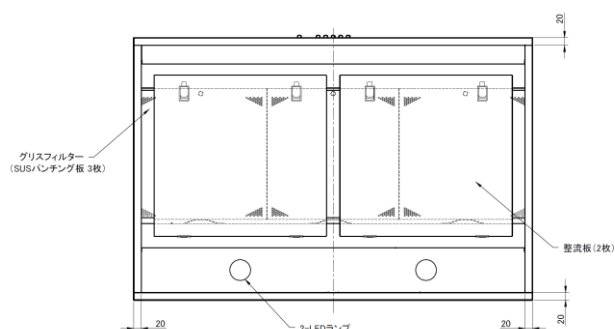
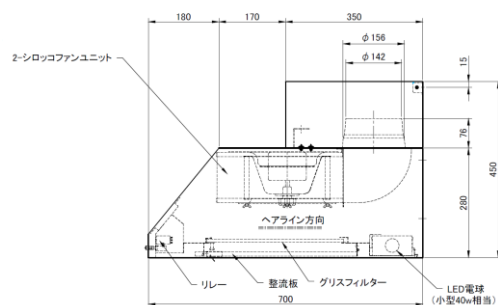
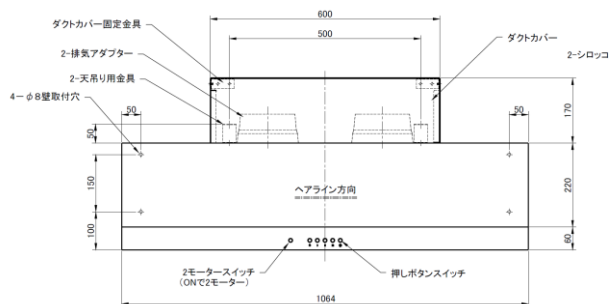
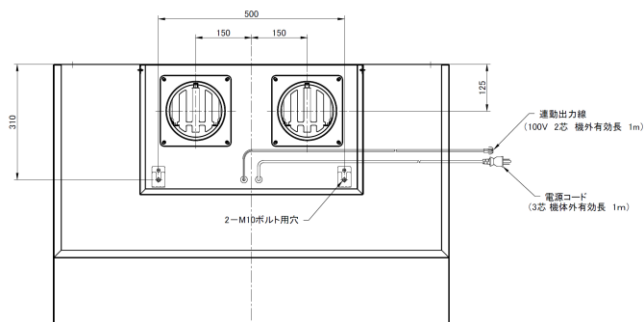
お客様への説明

- 1 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 2 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。

製品寸法図

※必ず案件毎の承認図をご参照ください

参考図



<https://www.tsunashimashoji.co.jp>
